

2019年市政要望を川合市長に提出

昨年11月、社民党川越総支部は「2019年川越市政に関する要望書」を川合善明市長に手渡しました。要望の一部をご紹介します。

- 市民の生命、財産を守るため、災害時の市民への通報、避難誘導、避難所の立ち上げなど、危機管理体制を見直し、強化すること。
- 4種類（地震、土砂災害、洪水、内水）のハザードマップをひとつのマップにまとめること。また、地区別のハザードマップを作成と市民への配布をすること。
- 学校給食費の無償化を段階的に進め、子育て世代の経済的負担を軽減すること。
- 市内の子どもの貧困を調査・分析し、その結果を公表するとともに、施策に反映して子どもの貧困の解消に生かすこと。
- 障がい者の就労支援、職場開拓を積極的に進めるとともに障がい者支援施設等への業務委託を拡大すること。



高橋つよし議員は30回を超えるタウンミーティングと地方自治の研究会等で地域の要望や課題を聞いてきました。社民党はそれらの「声」を市政要望としてまとめ、毎年川越市長に提出してきました。その概要をお伝えします。

古谷保育園、古谷市民センターの建て替えを

古谷保育園は築49年で市立保育園唯一の木造園舎。老朽化が進んでいます。古谷市民センターは市内で2番目の古さ。この2つを合築で建て替え、古谷の子育てと市民サービスのセンターにできればと提案しています。早期の実現が望まれます。



小中学校普通教室へのエアコン設置を実現

小中学校に通う子どもたちや保護者から強い要望のあった普通教室へのエアコン設置を議会で取り上げてきました。多くの関係者の協力により本年度で設置が完了することになりました。教室への扇風機の設置に続く教育環境の改善が前進しました。



「土のう」ステーションの設置

行政視察で学んだ他市の取り組みの中から「土のうステーションの設置」を川越市に提案。ゲリラ豪雨や内水浸水被害から住居を守るため、市内9か所に設置が実現しました。



歩道のバリアフリー — 段差の解消 —

社民党が粘り強く市政要望で指摘してきた「境町神明町線」の歩道の段差解消が一部の路線で実現。改修にあたっては「自転車レーン」も併設されました。



市独自の給付型奨学金制度の導入

議会の一般質問で導入を求めてきた給付型奨学金制度が、篤志家の申し出により導入が実現。大学進学を希望する受験生の経済的支援が充実。引き続き制度の拡充と継続を求めています。



無料法律相談実施中

毎月第4土曜日、午後2時から
お申し込みは **090 - 3542 - 9870 (高橋)** へ

3月23日(土) 4月27日(土)
5月25日(土) 6月22日(土)

— 未来は子どもたちのために —

安心と信頼の息づく
平和で豊かな川越を創ります！